

第2次菊川市総合計画で掲げる「将来像」(案) ＜追加提案＞

【案4】“未来へ挑め 未来を掴め” 希望あふれる みどりの都市 きくがわ

「未来へ挑め未来を掴め」は、全国的な問題となっている人口減少問題や社会経済情勢など様々な問題に対して、市民や行政がこれからの菊川を良くしていくために様々な問題に挑み、子育て、教育、就職、家庭、生活など「住んでよかった・住み続けた・住みやすい」と思われる住環境が整ったまちを掴み取ることをイメージしています。

「希望あふれる」は、未来について、明るい見通しと、楽しみな夢を描いて、わくわくしている、やりたいと思うことがいろいろあるということや、苦労や困難はあるかもしれないけど、実現できると信じて進んでいくことで未来を楽しみに毎日を過ごしていけるように感じるとういことを意味します。

「みどりの都市」は、自然・お茶・芽吹き（誕生）・若さ・活力・郷土・安全安心などをイメージした言葉で、合併時の新市将来構想や第1次菊川市総合計画からも継承するものになり、田舎と都会の良いところを併せ持つ、豊かな自然に恵まれ鮮やかな緑に包まれたこの地域で、人づくり、産業の発展、活力があり安心して平和に暮らせる、暮らし続けるまちを目指すことを意味します。

【案5】“羽ばたけ” 未来協創都市 きくがわ

「羽ばたけ」は、市を通るJR、東名高速道路や、近隣の静岡空港、御前崎港など、陸海空の交通網を活かし、菊川市の「良さ」、「魅力」を、全国、世界へ発信していくことをイメージしています。

「未来協創都市」は、未来の菊川を市民や民間、行政などみんなで創る田舎と都会の良いところを併せ持つまちを目指すことを意味します。

【案6】“未来へつなげ” 輝く「笑顔」咲き誇る みどりの都市 きくがわ

「未来へつなげ」は、よき風土、環境、地域・地元愛、魅力など、みんなが生まれ育った菊川を未来へつなげることを意味しています。

「輝く「笑顔」咲き誇る」は、幸せな生活や幸せなまちをつくる上で必要な笑顔を絶やさない明るい幸せな生活環境をつくることをイメージ、そのイメージを芽吹かせ開花させ、今以上に市内在住の皆さまはもとより、市外の方にも認めていただくことをイメージしています。

「みどりの都市」は、自然・お茶・芽吹き（誕生）・若さ・活力・郷土・安全安心などをイメージした言葉で、合併時の新市将来構想や第1次菊川市総合計画からも継承するものになり、田舎と都会の良いところを併せ持つ、豊かな自然に恵まれ鮮やかな緑に包まれたこの地域で、人づくり、産業の発展、活力があり安心して平和に暮らせる、暮らし続けるまちを目指すことを意味します。

【案7】みんなが育ち、みんなで育てる まち ～菊川で、家族になろう。～

「みんなが育ち、みんなで育てるまち」は、菊川に生まれ、育ち、育て、よき風土、環境、地域・地元愛、魅力などを未来へつなげることを意味しています。

「菊川で、家族になろう」は、結婚を促し定住や人口増を図ることはもとより、菊川市に住むみんなが、一つになり、自分が住む菊川市を共に創ることをイメージしています。